

# 成果説明書

## 【政策 4：産業・交流】

地域の宝、地域の資源を有効活用し、活気ある豊かなまち

【施策 4-1】 農家の担い手を育て儲かる農業をめざします

【施策 4-2】 既存企業や新規起業者への支援と、企業誘致を推進し、働く場を創出します

【施策 4-3】 協働して戦略的に小諸の魅力を発信し、交流人口・移住人口の増加を図ります



政策4	地域の宝、地域の資源を有効活用し、活気ある豊かなまち
-----	----------------------------

所 管	産業振興部
関 連	
関 連	

◆ミッション

- ・産業の活性化を図る。
- ・農業の生産性向上と農家の所得向上を支援する。
- ・企業・事業者の競争力強化を支援する。
- ・企業誘致と雇用の場を確保する。
- ・自然や歴史・文化を活かし、観光の振興と移住定住を促進する。

◆方 針

- ◎6次産業化と農・食のブランド化等により所得の向上を図る。  
歴史・文化を活かした小諸の農のブランド化や6次産業化等による農産物の高付加価値化を推進すると共に、生産性向上のための農地の集積、基盤整備を進め農家所得の向上を図ることにより、魅力ある農業となることで、新規就農者を増やす。
- ◎既存企業・事業者への支援と起業の支援、企業誘致を図る。  
生産性の向上や経営・資金面での企業等支援を行うとともに、起業にチャレンジする者の育成・支援を積極的に行う。また、首都圏から近く、自然災害が少ないという特性を活かしつつ、用地取得の助成等による企業誘致を推進する。
- ◎こもろ観光局と連携し、観光による地域づくりを進め、交流人口の増加を図る。  
これまでの観光の楽しみ方に加え、訪れた地で自らが体験することや地域の人々との交流を楽しむ着地型観光が増えていく。小諸市でしか出来ないことや、地域の魅力を掘り起し、小諸市全体で来訪者を受け入れ、インバウンドも含めた交流人口の増加を目指す。
- ◎空き家バンクや宅地開発支援により移住・定住者の増加を図る。  
移住者の住宅確保を支援するため空き家バンクを充実するとともに、シティプロモーションや移住体験ツアーなど実施し、小諸の魅力伝える。また、民間による宅地開発が進むよう、誘導的な社会資本整備を進める。

◆目標の実現に向けた今後の取り組み

- 新型コロナウイルス感染症の影響による経済状況悪化に対する適時的確な経済対策と、令和元年度東日本台風災害の早期復旧を最優先に取り組み、地域経済・地域産業の維持・回復を図る。
- 「小諸アグリシフトプロジェクト」の推進や「米・食味分析鑑定コンクール国際大会」開催に向けた取り組みなどにより、小諸の農と食のブランド化を進める。
- 小諸市森林整備計画に基づいた事業の実施及び、野生鳥獣商品化施設の安定的で効率的な運営に向けた取り組みを進める。
- 引き続き積極的な企業誘致と既存企業・事業者への支援を進めるとともに、「コロナ禍」による企業、個人の新たなニーズを踏まえた企業誘致、移住促進の取り組みを強化する。
- こもろ観光局の自立を促進し、連携・協力して観光地域づくりに取り組む。また、動物園再整備などにより懐古園の魅力アップに取り組み、交流人口の増加を図る。

政策 4	地域の宝、地域の資源を有効活用し、活気ある豊かなまち
施策 4-1	農家の担い手を育て儲かる農業をめざします

所 管	農林課
関 連	—
関 連	—
関 連	—
関 連	—
関 連	—

#### ◆現状と課題

農業は小諸市の基幹産業であるが、ほ場の傾斜がきつく、面積も小規模な中山間地という立地条件に恵まれていない状況もあり、農家数の減少、農業従事者の高齢化、後継者・担い手不足、遊休荒廃地の増大などが問題となっている。担い手を育てるためには、農業大学校との連携強化が効果的であり、今後の連携強化の取り組みが必要である。また、生産物を「どう売るか」ということについて、消費者の目線に立った農業経営を行うとともに、商店街との連携等にも取り組んでいく必要がある。

#### ◆方針

目的
農業が儲かる産業となり夢が持てるようにならないと、後継者や新規参入者等の担い手は育たない。担い手の農業研修については農業大学校と十分な連携を図るとともに、農産物の付加価値を高めるブランド化や6次産業化などを推進し、生産するだけでなく「どう売るか」という商業的な視点も十分に取り入れながら儲かる農業をめざす。また、既に生産物の販路が確立された地区においては、農業の生産性をさらに向上させ、儲かり続ける農業をめざす。

#### ◆令和元年度重点方針と目標

○小諸の農産物のブランド化を推進する。（“小諸の土”産の全国発信、みつおか果樹、良食味米等）
○老朽化している「あぐりの湯」の設備改修を行うとともに、小諸の農産物等の情報発信も可能となるよう「レストラン」や「直売所」の改修を併せて行い、指定管理者と連携して施設利用者の増加を図る。
○農業用施設の適正な維持管理の推進。○耕作放棄地の解消と農地利用最適化の推進。
○農作物被害軽減のための野生鳥獣対策の継続と、野生鳥獣商品化施設の安定経営を図る。

#### ◆目標

##### ・目標の計画と達成状況

計 画
①農地・農道・水路等の基盤整備が進み、農地が保全され、効率的な農業ができている状態。
②農地の集積が進み、耕作放棄地が増えない状態。
③農産物等における「小諸の農」のブランドが確立された状態。
④6次産業化に取り組む農業者が大勢いて、ビジネスとして成り立っている状態。
⑤森林が整備され、野生鳥獣による農業被害が増えていかない状態。
設 定 理 由
①基盤整備がされ、生産性が向上した農業でなければ、後継者や新規参入者等の担い手が増えないから。
②耕作放棄地とならずに農地が集積され規模拡大につながれば、生産性が向上するから。
③ブランドが確立されれば、農作物の収益率が上がるから。
④ビジネスとして成り立てば、担い手が増えるから。
⑤農業被害が増加すると営農意欲が減退してしまうから。

◆実績

令和元年度実績						評価	維持
①ブランド化へ向け、ワイン用ぶどうの苗木の購入補助による栽培面積の拡大を図った。 ②農村資源活用交流施設の経営安定を図るため、新メニューや新商品の開発を行った。 ③令和元年東日本台風等による災害復旧及び農地等の適正な維持管理に取り組んだ。 ④耕作放棄地の解消を図るとともに、農業委員等を中心に「人・農地プラン」の実質化に取り組んだ。 ⑤鳥獣被害防止対策として実施隊による適正な捕獲や駆除を実施し、駆除した鹿肉等の利活用を促進した。							

◆成果指標(アウトカム)

・目標の計画と達成状況

指標名	農地所有適格化法人・農業生産組織数						単位	団体
設定理由	農産物価格の競争力を高めるために必要となる、生産コスト削減のためには、法人化等による経営規模拡大や省力化が必要であるから。							
算式							単位	団体
目標値	計画策定時		平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度		
	14	計画	18	20	22	24		
		実績	18	16	16			
指標名	耕作放棄地の解消面積						単位	ha
設定理由	営農意欲のある人により、耕作放棄地が農地として再生されれば、農地の集積につながり、生産性も向上するから。							
算式							単位	ha
目標値	計画策定時		平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度		
	25	計画	31	34	37	39		
		実績	31	35	37			
指標名							単位	
設定理由								
算式							単位	
目標値	計画策定時		平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度		
		計画						
		実績						

◆目標の実現に向けた今後の取り組み

①令和元年東日本台風による災害の早期復旧に取り組むとともに、防災重点ため池のハザードマップ作成に取り組む。 ②人・農地プランの実質化を進め、中間管理事業の活用による利用集積の推進と耕作放棄地の解消に取り組む。 ③アグリシフトプロジェクトの推進と、農村資源活用交流施設の運営改善に取り組む。 ④令和3年度に開催予定の「米食味分析鑑定コンクール国際大会」へ向けたブレ大会や米作り研修会等を開催し、生産者や地域の気運の醸成を目指す。 ⑤森林環境譲与税を活用した森林整備向け「実施方針」の策定に取り組む。また、野生鳥獣商品化施設の指定管理化を目指す。							
---	--	--	--	--	--	--	--

◆個別計画

農業振興地域整備計画／農業経営基盤の強化の促進に関する基本的な構想／森林整備計画							
--	--	--	--	--	--	--	--

◆特記事項

--	--	--	--	--	--	--	--

政策 4 地域の宝、地域の資源を有効活用し、活気ある豊かなまち  
 施策 4-1 農家の担い手を育て儲かる農業をめざします

事務事業名		新規・継続		施策内順位			
農業委員会運営費		継続		13			
会計・款・項・目		所管課		市長公約事項			
一般会計・6農林水産業費・1農業費・1農業委員会費		農林課		1:無			
事業概要	【運営費】 農地法等の法令業務の執行等、農業委員会活動にかかる運営費						
投入指標			平成29年度	平成30年度	令和元年度		
	年度別事業費		14,934 千円	16,138 千円	15,821 千円		
	特定財源	国・県支出金	3,531 千円	3,518 千円	5,081 千円		
		地方債	0 千円	0 千円	0 千円		
		その他	587 千円	574 千円	99 千円		
一般財源		10,816 千円	12,046 千円	10,641 千円			
活動指標	指標名		単位	平成29年度	平成30年度	令和元年度	
	農業委員会の開催数		回	計画	12	12	12
				実績	12	12	12
	農業者との話し合い		回	計画	1	1	1
				実績	1	7	0
令和元年度 実績		評価	縮小	特記事項			
農地法等の法令業務を適正に執行するため、定例会、委員会を毎月開催し、法令に基づく審議を行った。 人農地プランの見直しと、行政、農業団体への意見書の提出に向けて、農業者との意見交換会を実施予定であったが新型コロナウイルス感染拡大防止のため開催できなかった。							
第23期農業委員会の任期は令和2年7月19日まで							
目標の実現に向けた今後の取り組み 引き続き農地法等の法令業務の適正な執行を行い、優良農地の確保に努める。							

政策 4 地域の宝、地域の資源を有効活用し、活気ある豊かなまち  
 施策 4-1 農家の担い手を育て儲かる農業をめざします

事務事業名		新規・継続		施策内順位			
機構集積支援事業		継続		5			
会計・款・項・目		所管課		市長公約事項			
一般会計・6農林水産業費・1農業費・1農業委員会費		農林課		1:無			
事業概要	・農地の利用状況調査をもとに、耕作放棄地の所有者等に利用意向調査を行う。 ・農地集積推進員を設置し、利用意向調査の結果をもとに農地の利用関係の調整を行う。						
投入指標			平成29年度	平成30年度	令和元年度		
	年度別事業費		5,085 千円	4,647 千円	5,400 千円		
	特定財源	国・県支出金	3,582 千円	2,670 千円	3,334 千円		
		地方債	0 千円	0 千円	0 千円		
		その他	0 千円	0 千円	0 千円		
一般財源		1,503 千円	1,977 千円	2,066 千円			
活動指標	指標名		単位	平成29年度	平成30年度	令和元年度	
	農地調査面積		ha	計画	3,600	3,500	3,500
				実績	3,490	3,382	3,680
	耕作放棄地所有者等の利用意向調査		件	計画	800	500	300
				実績	416	627	169
令和元年度 実績		評価	縮小	特記事項			
農地利用状況調査を調査員2名を雇用し、市内全農地を調査した。 遊休農地については、農地法による勧告を行うこととなるが、30年度勧告対象農地はなかった。							
目標の実現に向けた今後の取り組み 農地利用状況調査を適正に実施し、遊休農地所有者に対し利用意向調査を実施する。意向どおり農地利用が図られない遊休農地所有者に対しては、勧告を適切に実施する。							

政策 4 地域の宝、地域の資源を有効活用し、活気ある豊かなまち  
 施策 4-1 農家の担い手を育て儲かる農業をめざします

事務事業名		新規・継続		施策内順位			
農業振興事業		継続		8			
会計・款・項・目		所管課		市長公約事項			
一般会計・6農林水産業費・1農業費・3農業振興費		農林課		1:無			
事業概要	【運営費】 ・農業生産の拡大や各作物の振興を図ることを目的に、農業者や各種団体等への負担金、補助金、交付金を支出 ・農林課所管の行政財産(小諸大橋記念公園、みまき大池及びみまき大池周辺市有地)の適切な維持及び管理 ・市民農園貸付により、非農家の家庭菜園ニーズに応える市民農園の運営及び管理						
投入指標			平成29年度	平成30年度	令和元年度		
	年度別事業費		12,882 千円	66,330 千円	15,166 千円		
	特定財源	国・県支出金	4,313 千円	57,046 千円	6,255 千円		
		地方債	0 千円	0 千円	0 千円		
		その他	322 千円	302 千円	292 千円		
一般財源		8,247 千円	8,982 千円	8,619 千円			
活動指標	指標名		単位	平成29年度	平成30年度	令和元年度	
	水稻作付目安値状況(100%以下)		%	計画	-	100	100
				実績	-	99	99
				計画			
				実績			
令和元年度 実績			評価	維持	特記事項		
各種制度の活用を関係団体等との綿密な連携により、適切に行い農家の経営安定等の育成支援ができた。 関係団体との連携(協定等)により農産物振興の推進ができた。							
目標の実現に向けた今後の取り組み							
・戦略的産地形成等継続的な農業生産の展開を目指して、JAとの連携強化を図る。 ・若手農業者との意見交換を行い新規就農者対策をアップデートするとともに、関係団体との連携により新規就農者増加を目指した取り組みを進める。							

政策 4 地域の宝、地域の資源を有効活用し、活気ある豊かなまち  
 施策 4-1 農家の担い手を育て儲かる農業をめざします

事務事業名		新規・継続		施策内順位			
畜産振興事業		継続		17			
会計・款・項・目		所管課		市長公約事項			
一般会計・6農林水産業費・1農業費・3農業振興費		農林課		1:無			
事業概要	安全安心な畜産物の生産供給を図るために、小諸市家畜自営防疫推進協会を組織し、関係機関と連携し生産者が行う自衛防疫活動支援等を推進する。 ・各種予防注射・消毒等の推進 ・畜産衛生広報の推進等						
投入指標			平成29年度	平成30年度	令和元年度		
	年度別事業費		1,143 千円	1,594 千円	1,436 千円		
	特定財源	国・県支出金	0 千円	0 千円	0 千円		
		地方債	0 千円	0 千円	0 千円		
		その他	470 千円	678 千円	565 千円		
一般財源		673 千円	916 千円	871 千円			
活動指標	指標名		単位	平成29年度	平成30年度	令和元年度	
	牛予防注射・検査実施率		%	計画	100	100	100
				実績	100	100	100
				計画			
				実績			
令和元年度 実績			評価	維持	特記事項		
・各種予防注射等円滑に実施することができた。							
目標の実現に向けた今後の取り組み							
・情報の早期取得や生産者への適時伝達を確保するため、関係機関や団体との連携強化を継続する。							

政策 4 地域の宝、地域の資源を有効活用し、活気ある豊かなまち  
 施策 4-1 農家の担い手を育て儲かる農業をめざします

事務事業名		新規・継続		施策内順位		
農村資源活用交流施設運営事業		継続		10		
会計・款・項・目		所管課		市長公約事項		
一般会計・6農林水産業費・1農業費・3農業振興費		農林課		2:有		
事業概要	農村資源活用交流施設「あぐりの湯こもろ」の適切な管理					
	<ul style="list-style-type: none"> <li>・交流人口を確保し地域農産物の販路拡大や地産地消を推進する</li> <li>・体験農園等農村資源を活用した都市と農村の体験交流の推進</li> <li>・施設管理者としての適切な維持管理の推進</li> </ul>					
投入指標			平成29年度	平成30年度	令和元年度	
	年度別事業費		10,949 千円	215,934 千円	45,417 千円	
	特定財源	国・県支出金	0 千円	0 千円	0 千円	
		地方債	0 千円	0 千円	0 千円	
		その他	0 千円	0 千円	0 千円	
一般財源		10,949 千円	215,934 千円	45,417 千円		
活動指標	指標名		単位	平成29年度	平成30年度	令和元年度
	あぐりの湯こもろ 入浴者数	人	計画	237,000	200,000	250,000
			実績	219,774	162,829	203,902
			計画			
			実績			
令和元年度 実績		評価	維持	特記事項		
<ul style="list-style-type: none"> <li>・協定に基づく適切な維持管理が行われた。</li> <li>・施設の経営安定に向けて、オリジナル商品の開発を行った。(コロナ禍により未発表)</li> <li>・非常事態時(台風19号後、コロナ禍)における施設の運営を確保することができた。</li> </ul>						
目標の実現に向けた今後の取り組み						
<ul style="list-style-type: none"> <li>・特長ある商品開発を指定管理者と共に継続し、直売所やレストランの強化を図る。</li> <li>・次回指定管理の選定手続きを適正に行う。</li> </ul>						

政策 4 地域の宝、地域の資源を有効活用し、活気ある豊かなまち  
 施策 4-1 農家の担い手を育て儲かる農業をめざします

事務事業名		新規・継続		施策内順位		
中山間地域等直接支払事業		継続		14		
会計・款・項・目		所管課		市長公約事項		
一般会計・6農林水産業費・1農業費・3農業振興費		農林課		1:無		
事業概要	中山間地域における農業生産条件の不利による耕作放棄地の発生を防止し、多面的機能の確保を図るため、農業生産条件の不利を補正することを目的に、国が維持管理など共同作業の推進に要する経費を交付金として支出する中山間地域等直接支払事業の推進					
	<ul style="list-style-type: none"> <li>・交付金の交付事務</li> <li>・協定集落(交付団体)の活動の管理</li> <li>・集落営農組織等の育成</li> </ul>					
投入指標			平成29年度	平成30年度	令和元年度	
	年度別事業費		60,104 千円	60,065 千円	59,915 千円	
	特定財源	国・県支出金	44,514 千円	44,542 千円	44,455 千円	
		地方債	0 千円	0 千円	0 千円	
		その他	0 千円	0 千円	0 千円	
一般財源		15,590 千円	15,523 千円	15,460 千円		
活動指標	指標名		単位	平成29年度	平成30年度	令和元年度
	集落協定面積	ha	計画	300	300	300
			実績	300	301	301
			計画			
			実績			
令和元年度 実績		評価	縮小	特記事項		
制度に従い適切に事業執行できた 各協定が適正に活動できるようヒアリングを実施した。 第5期対策の周知と第4期対策の完了を適切に実施した。						
目標の実現に向けた今後の取り組み						
第5期対策へスムーズに移行できるよう説明会・ヒアリング等を開催し、適切な実施を図る。						



政策 4 地域の宝、地域の資源を有効活用し、活気ある豊かなまち  
 施策 4-1 農家の担い手を育て儲かる農業をめざします

事務事業名		新規・継続		施策内順位		
農業人材育成事業		継続		4		
会計・款・項・目		所管課		市長公約事項		
一般会計・6農林水産業費・1農業費・3農業振興費		農林課		2:有		
事業概要	小諸市農業経営基盤の強化の促進に関する基本的な構想等に基づき、農業の担い手を確保し、持続的な農業生産と農業農村の振興を推進					
	<ul style="list-style-type: none"> <li>・認定農業者の確保と営農支援</li> <li>・新規就農者の確保と就農支援</li> <li>・持続可能な農業展開に向けた総合的な農業・農村振興の推進</li> </ul>					
投入指標	年度別事業費		平成29年度	平成30年度	令和元年度	
	国・県支出金		8,270 千円	14,577 千円	26,838 千円	
	特定財源	地方債	8,250 千円	14,250 千円	26,538 千円	
		その他	0 千円	0 千円	0 千円	
		一般財源	0 千円	0 千円	0 千円	
一般財源		20 千円	327 千円	300 千円		
活動指標	指標名		単位	平成29年度	平成30年度	令和元年度
	農業生産法人及び農業生産組織(集落営農等)数	組織	計画	18	20	18
			実績	18	16	16
	新規就農者(農業者子弟を含む)数	人	計画	3	3	3
			実績	2	2	2
令和元年度 実績		評価	縮小	特記事項		
【認定農業者】新規認定者について、地域の担い手(主体)となり得るよう営農計画等策定の支援を行った		活動指標修正:理由 計画策定時のデータを精査し、件数が減少したため				
【経営体育成支援事業】事業実施希望者への丁寧な相談対応と採択事業の適切な実施						
【農村女性活動】農村女性活動の統合を適切に実施した						
目標の実現に向けた今後の取り組み						
<ul style="list-style-type: none"> <li>・担い手農家の経営安定につながる国庫補助事業の情報収集と国や県との密な連絡により、補助事業導入希望者が事業実施となるよう取り組む</li> <li>・新規就農者の増加に繋がるような情報発信の研究</li> </ul>						

政策 4 地域の宝、地域の資源を有効活用し、活気ある豊かなまち  
 施策 4-1 農家の担い手を育て儲かる農業をめざします

事務事業名		新規・継続		施策内順位		
農産物ブランド化事業		継続		1		
会計・款・項・目		所管課		市長公約事項		
一般会計・6農林水産業費・1農業費・3農業振興費		農林課		1:無		
事業概要	小諸市農業のファンを増やす＝小諸農業のブランド化を推進する。					
	「ワイン(ぶどう栽培)」「そば」等個別の農産物の差別化＝農産物のブランド商品化することで、販売向上と観光資源化を図るとともにワイン醸造所の立地でしごとの創出を図る。					
投入指標	年度別事業費		平成29年度	平成30年度	令和元年度	
	国・県支出金		6,581 千円	8,045 千円	189,650 千円	
	特定財源	地方債	0 千円	3,620 千円	6,871 千円	
		その他	0 千円	0 千円	0 千円	
		一般財源	0 千円	0 千円	0 千円	
一般財源		6,581 千円	4,425 千円	182,779 千円		
活動指標	指標名		単位	平成29年度	平成30年度	令和元年度
	小諸の農のブランド(商品)化推進組織数	組織	計画	1	1	2
			実績	0	1	2
	市内ワイナリー数	件	計画	1	2	2
			実績	1	2	3
令和元年度 実績		評価	縮小	特記事項		
ワインのブランド化に向けてワイン用ぶどう栽培の振興を苗木補助により栽培面積の拡大を図った		令和元年度予算から6次産業化の取組みが、ブランド化の取組みに重複する部分も多いことから、農産物ブランド化事業(当事業)へ統合				
米のブランド化に向けた研修会等を継続させ、次年度作付へ反映させることができた						
そばの生産振興を図るためのコンバインの更新を行った						
目標の実現に向けた今後の取り組み						
<ul style="list-style-type: none"> <li>・令和3年に開催する「米・食味分析鑑定コンクール国際大会」を小諸ブランド発信の一大イベントとして、実行委員会、生産者研修会の組織化を図り取組を開始する。</li> <li>・基幹的農産物であるブロッコリーの安定供給(トップシェアの維持)を図る産地形成を推進する</li> <li>・民間投資を呼び込むためのプロジェクトを推進する。</li> </ul>						

政策 4 地域の宝、地域の資源を有効活用し、活気ある豊かなまち  
 施策 4-1 農家の担い手を育て儲かる農業をめざします

事務事業名		新規・継続		施策内順位		
市単独土地改良事業		継続		3		
会計・款・項・目		所管課		市長公約事項		
一般会計・6農林水産業費・1農業費・4農地費		農林課		1:無		
事業概要	小諸市が事業主体となり、土地改良事業等分担金徴収条例に基づく分担金等を徴収して、農業生産基盤である、農道、用排水施設、基幹水利施設、暗渠排水、畑地かんがい、ため池、農地等の整備を行う。					
投入指標	年度別事業費		平成29年度	平成30年度	令和元年度	
	特定財源	国・県支出金	21,037 千円	29,986 千円	24,692 千円	
		地方債	0 千円	0 千円	0 千円	
		その他	0 千円	0 千円	0 千円	
		一般財源	938 千円	0 千円	0 千円	
一般財源		20,099 千円	29,986 千円	24,692 千円		
活動指標	指標名		単位	平成29年度	平成30年度	令和元年度
	農作業道整備延長	m	計画	330	330	330
			実績	92	268	0
	用水路整備延長	m	計画	155	155	155
			実績	338	210	45
令和元年度 実績		評価	縮小	特記事項		
御影用水地区実施計画策定業務 インフラ施設長寿命化計画策定調査業務 涌玉用水 新設事業 1箇所 改修事業 6箇所						
目標の実現に向けた今後の取り組み 東日本台風災害の影響で事業進捗が遅れているが、緊急性・必要性等を考慮し整備を図る。						

政策 4 地域の宝、地域の資源を有効活用し、活気ある豊かなまち  
 施策 4-1 農家の担い手を育て儲かる農業をめざします

事務事業名		新規・継続		施策内順位		
市単独維持補修事業		継続		-		
会計・款・項・目		所管課		市長公約事項		
一般会計・6農林水産業費・1農業費・4農地費		農林課		1:無		
事業概要	小諸市が事業主体となり農業生産活動により生じる経常的な維持管理を行う。					
投入指標	年度別事業費		平成29年度	平成30年度	令和元年度	
	特定財源	国・県支出金	13,442 千円	16,403 千円	14,465 千円	
		地方債	0 千円	0 千円	0 千円	
		その他	0 千円	0 千円	0 千円	
		一般財源	0 千円	0 千円	0 千円	
一般財源		13,442 千円	16,403 千円	14,465 千円		
活動指標	指標名		単位	平成29年度	平成30年度	令和元年度
	農道維持補修工事箇所	箇所	計画	-	-	20
			実績	-	-	9
	用排水路維持補修工事箇所	箇所	計画	-	-	45
			実績	-	-	39
令和元年度 実績		評価	縮小	特記事項		
土地改良施設の状況に応じた適切な維持補修工事を行った。 維持補修工事 48件						
目標の実現に向けた今後の取り組み 施設の機能保全是維持管理の上で必要不可欠であり、災害を未然に防ぐために維持補修行っていく。						

政策 4 地域の宝、地域の資源を有効活用し、活気ある豊かなまち  
 施策 4-1 農家の担い手を育て儲かる農業をめざします

事務事業名		新規・継続		施策内順位		
土地改良区等補助金交付事業		継続		20		
会計・款・項・目		所管課		市長公約事項		
一般会計・6農林水産業費・1農業費・4農地費		農林課		1:無		
事業概要	土地改良区等への事務的経費支援					
投入指標	年度別事業費		平成29年度	平成30年度	令和元年度	
	特定財源	国・県支出金	10,092 千円	10,569 千円	12,230 千円	
		地方債	0 千円	0 千円	0 千円	
		その他	0 千円	0 千円	0 千円	
		一般財源	10,092 千円	10,569 千円	12,230 千円	
活動指標	指標名		単位	平成29年度	平成30年度	令和元年度
	小諸市土地改良連合会への補助金額	千円	計画	5,985	5,985	5,985
			実績	5,985	5,985	5,985
	千ヶ滝湯川土地改良区への補助金額	千円	計画	2,332	2,332	2,332
			実績	2,332	2,332	2,478
令和元年度 実績		評価	維持	特記事項		
各関係団体に対し適切な執行を図った。						
目標の実現に向けた今後の取り組み						
関係団体に対し適切な支援を行う。						

政策 4 地域の宝、地域の資源を有効活用し、活気ある豊かなまち  
 施策 4-1 農家の担い手を育て儲かる農業をめざします

事務事業名		新規・継続		施策内順位		
農地保全協働事業		継続		6		
会計・款・項・目		所管課		市長公約事項		
一般会計・6農林水産業費・1農業費・4農地費		農林課		1:無		
事業概要	農業農村振興対策事業補助金交付要綱等に基づき、農業者等が自ら農業の生産性向上及び、農業構造(農地耕作条件)の改善を図るために必要な農業生産基盤の整備に取り組むことに対し支援を行う。					
投入指標	年度別事業費		平成29年度	平成30年度	令和元年度	
	特定財源	国・県支出金	9,189 千円	7,790 千円	8,194 千円	
		地方債	0 千円	0 千円	0 千円	
		その他	0 千円	0 千円	0 千円	
		一般財源	9,189 千円	7,790 千円	8,194 千円	
活動指標	指標名		単位	平成29年度	平成30年度	令和元年度
	原材料支給実施箇所	件	計画	55	55	55
			実績	53	37	35
	機械借上げ実施箇所	件	計画	8	8	8
			実績	7	3	1
令和元年度 実績		評価	縮小	特記事項		
土地改良施設の状況に応じ適切な予算執行を図った。						
目標の実現に向けた今後の取り組み						
地域の実情に即した支援を行う。						

政策 4 地域の宝、地域の資源を有効活用し、活気ある豊かなまち  
 施策 4-1 農家の担い手を育て儲かる農業をめざします

事務事業名		新規・継続		施策内順位			
多面的機能支払交付金事業		継続		15			
会計・款・項・目		所管課		市長公約事項			
一般会計・6農林水産業費・1農業費・4農地費		農林課		1:無			
事業概要	農業・農村の多面的機能の発揮のための地域活動や営農の継続等に対する支援を行う。農地維持支払として、地域資源の基礎的保全活動、多面的機能を支える共同活動の支援。資源向上支払として、地域資源の質的向上を図る共同活動、施設の長寿命化のための活動を支援します。						
投入指標	年度別事業費		平成29年度	平成30年度	令和元年度		
	特定財源	国・県支出金	13,516 千円	12,573 千円	13,343 千円		
		地方債	10,146 千円	9,430 千円	10,030 千円		
		その他	0 千円	0 千円	0 千円		
		一般財源	0 千円	0 千円	0 千円		
		3,370 千円	3,143 千円	3,313 千円			
活動指標	指標名		単位	平成29年度	平成30年度	令和元年度	
	田における活動面積		ha	計画	90	90	90
				実績	90	91	92
	畑における活動面積		ha	計画	164	164	165
				実績	164	164	169
令和元年度 実績		評価	維持	特記事項			
計8組織への活動支援を行った。							
目標の実現に向けた今後の取り組み							
個別計画に基づき、農業・農村の有する多面的機能の維持・発揮のための地域活動や営農に維持等に対し適切な支援をおこなう。							

政策 4 地域の宝、地域の資源を有効活用し、活気ある豊かなまち  
 施策 4-1 農家の担い手を育て儲かる農業をめざします

事務事業名		新規・継続		施策内順位			
維持管理適正化事業		継続		9			
会計・款・項・目		所管課		市長公約事項			
一般会計・6農林水産業費・1農業費・4農地費		農林課		1:無			
事業概要	小諸市が事業主体となり、適正化事業に加入して、整備補修に必要な費用の一定額を拠出金として長土連に拠出し、事業実施時に助成を受け、整備補修を行う。						
投入指標	年度別事業費		平成29年度	平成30年度	令和元年度		
	特定財源	国・県支出金	0 千円	1,336 千円	583 千円		
		地方債	0 千円	0 千円	0 千円		
		その他	0 千円	0 千円	0 千円		
		一般財源	0 千円	0 千円	0 千円		
		0 千円	1,336 千円	583 千円			
活動指標	指標名		単位	平成29年度	平成30年度	令和元年度	
	整備件数		件	計画	-	-	1
				実績	-	4	1
				計画			
				実績			
令和元年度 実績		評価	縮小	特記事項			
測量・設計委託 1件							
目標の実現に向けた今後の取り組み							
土地改良施設維持管理適正化事業計画に基づき、適切な予算執行を図る。							

政策 4 地域の宝、地域の資源を有効活用し、活気ある豊かなまち  
 施策 4-1 農家の担い手を育て儲かる農業をめざします

事務事業名		新規・継続		施策内順位		
林業振興事業		継続		21		
会計・款・項・目		所管課		市長公約事項		
一般会計・6農林水産業費・2林業費・1林業振興費		農林課		1:無		
事業概要	<ul style="list-style-type: none"> <li>林業振興のため必要な事業を各種団体へ委託し活性化、又は被害防除を行う。</li> <li>林地台帳管理システムの精度向上を図り、森林所有者に公表を行う。</li> </ul>					
投入指標	年度別事業費		平成29年度	平成30年度	令和元年度	
	特定財源	国・県支出金	780 千円	8,181 千円	4,006 千円	
		地方債	0 千円	0 千円	0 千円	
		その他	0 千円	0 千円	0 千円	
		一般財源	780 千円	8,181 千円	4,006 千円	
活動指標	指標名		単位	平成29年度	平成30年度	令和元年度
	深沢管理施設のパトロール回数	回	計画	4	4	4
			実績	5	6	6
			計画			
			実績			
令和元年度 実績		評価	維持	特記事項		
<ul style="list-style-type: none"> <li>負担金等の適切な予算執行を図った。</li> <li>深沢管理施設の管理業務を一部業務委託し、業務の軽減と適切な維持管理を行った。</li> </ul>		平成28年度の森林法改正に伴い、森林所有者の情報林地台帳として整備し公表する制度が創設されたことを受け、林地台帳管理システムの構築を行い、公表に向けた森林所有者情報等の精度向上を行う必要がある。				
<p align="center">目標の実現に向けた今後の取り組み</p> <p>県のシステムデータを活用し、林地台帳管理システムの精度向上を図るための業務委託を行う。          小諸市林地台帳事務取扱要領にもとづき、森林所有者に公表を行う。          深沢水系施設管理等について、地元区に業務委託を行う。</p>						

政策 4 地域の宝、地域の資源を有効活用し、活気ある豊かなまち  
 施策 4-1 農家の担い手を育て儲かる農業をめざします

事務事業名		新規・継続		施策内順位		
治山林道施設維持管理事業		継続		19		
会計・款・項・目		所管課		市長公約事項		
一般会計・6農林水産業費・2林業費・1林業振興費		農林課		1:無		
事業概要	<ul style="list-style-type: none"> <li>林道の維持管理事業</li> <li>林道布引線 延長2.4km</li> <li>林道浅間線 延長4.2km</li> </ul>					
投入指標	年度別事業費		平成29年度	平成30年度	令和元年度	
	特定財源	国・県支出金	3,790 千円	2,152 千円	2,786 千円	
		地方債	0 千円	0 千円	0 千円	
		その他	0 千円	0 千円	0 千円	
		一般財源	3,790 千円	2,152 千円	2,786 千円	
活動指標	指標名		単位	平成29年度	平成30年度	令和元年度
	林道のパトロール回数	回	計画	12	12	12
			実績	14	15	15
			計画			
			実績			
令和元年度 実績		評価	維持	特記事項		
<ul style="list-style-type: none"> <li>林道布引線の定期的パトロールを実施し、道路の補修及び水路の側溝掘、倒木になりそうな立木の処理を行なった。</li> <li>林道浅間線の定期的パトロールを実施し、路面等の道路補修を行った。</li> </ul>						
<p align="center">目標の実現に向けた今後の取り組み</p> <p>毎月15日を基本に林道パトロールを実施し、適正な維持管理を図る。</p>						

政策 4 地域の宝、地域の資源を有効活用し、活気ある豊かなまち  
 施策 4-1 農家の担い手を育て儲かる農業をめざします

事務事業名		新規・継続		施策内順位		
松くい虫対策事業		継続		12		
会計・款・項・目		所管課		市長公約事項		
一般会計・6農林水産業費・2林業費・1林業振興費		農林課		1:無		
事業概要	<ul style="list-style-type: none"> <li>松くい虫被害木の分布状況を調査し、経年変化を把握する。</li> <li>松くい虫被害を受けた枯損木の倒壊による二次被害を予防するため、伐採処理に係る委託経費を補助する。</li> </ul>					
投入指標	年度別事業費		平成29年度	平成30年度	令和元年度	
	特定財源	国・県支出金	11,998 千円	4,615 千円	3,428 千円	
		地方債	6,812 千円	1,236 千円	1,251 千円	
		その他	0 千円	0 千円	0 千円	
		一般財源	0 千円	0 千円	0 千円	
一般財源		5,186 千円	3,379 千円	2,177 千円		
活動指標	指標名		単位	平成29年度	平成30年度	令和元年度
	松くい虫被害木処理本数	本	計画	41	200	220
			実績	41	286	256
		評価	計画			
			実績			
令和元年度 実績		評価	維持	特記事項		
<ul style="list-style-type: none"> <li>松くい虫被害地域を把握するための調査を実施。年々減少傾向となってきた。</li> <li>松くい虫等による枯損木処理のための特殊伐採補助金を交付し、102件、256本を処理した。</li> </ul>		平成30年度から活動指標の指標名を、地区保全森林面積から、松くい虫被害木処理本数に変更。				
<p align="center">目標の実現に向けた今後の取り組み</p> <p>松くい虫等による枯損木の倒壊による二次被害を防止するため、特殊伐採補助金を交付し枯損木の処理を促す。</p>						

政策 4 地域の宝、地域の資源を有効活用し、活気ある豊かなまち  
 施策 4-1 農家の担い手を育て儲かる農業をめざします

事務事業名		新規・継続		施策内順位		
野生鳥獣保護・管理事業		継続		18		
会計・款・項・目		所管課		市長公約事項		
一般会計・6農林水産業費・2林業費・1林業振興費		農林課		1:無		
事業概要	野生鳥獣対策実施隊による野生鳥獣の適正な捕獲及び被害防止対策の実施。					
投入指標	年度別事業費		平成29年度	平成30年度	令和元年度	
	特定財源	国・県支出金	15,208 千円	18,897 千円	24,262 千円	
		地方債	1,723 千円	2,500 千円	2,645 千円	
		その他	0 千円	0 千円	0 千円	
		一般財源	2,079 千円	2,294 千円	3,694 千円	
一般財源		11,406 千円	14,103 千円	17,923 千円		
活動指標	指標名		単位	平成29年度	平成30年度	令和元年度
	ニホンジカ捕獲頭数	頭	計画	300	300	310
			実績	187	267	234
	有害鳥獣による農業被害額	千円	計画	2,500	2,400	2,300
			実績	1,913	3,234	1,854
令和元年度 実績		評価	維持	特記事項		
<ul style="list-style-type: none"> <li>野生鳥獣対策実施隊により、大型獣捕獲278頭、中型獣駆除112頭の捕獲・駆除を行った。</li> <li>市民団体等からの要請で、野生鳥獣に関わる出前講座を実施した。</li> </ul>						
<p align="center">目標の実現に向けた今後の取り組み</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>小諸市有害鳥獣駆除対策協議会にて、農業被害・林業被害の状況及び対策等について協議を行う。</li> <li>出前講座等で、野生鳥獣に対する環境教育を行い、市民への意識向上を図る。</li> </ul>						

政策 4 地域の宝、地域の資源を有効活用し、活気ある豊かなまち  
 施策 4-1 農家の担い手を育て儲かる農業をめざします

事務事業名		新規・継続		施策内順位		
森林(もり)の里親事業		継続		16		
会計・款・項・目		所管課		市長公約事項		
一般会計・6農林水産業費・2林業費・1林業振興費		農林課		1:無		
事業概要	長野県が推進する森林の里親促進事業により、環境保全活動に熱心に取り組む企業と共に協働の森づくりを行う森林の里親契約を締結し、企業支援による協働の森づくりを行う。					
投入指標	年度別事業費		平成29年度	平成30年度	令和元年度	
	国・県支出金		526 千円	626 千円	609 千円	
	特定財源	国・県支出金	0 千円	0 千円	0 千円	
		地方債	0 千円	0 千円	0 千円	
		その他	500 千円	500 千円	500 千円	
一般財源		26 千円	126 千円	109 千円		
活動指標	指標名		単位	平成29年度	平成30年度	令和元年度
	森林整備体験学習の実施回数	回	計画	6	4	5
			実績	3	8	4
			計画			
			実績			
令和元年度 実績		評価	維持	特記事項		
<ul style="list-style-type: none"> <li>・沖電気工業㈱による森林整備。下草刈り、間伐作業を実施。春は42名が参加。秋は台風19号災害対応により止む無く中止。</li> <li>・ネイチャーズウェイによる森林整備を実施。</li> </ul>						
<p align="center">目標の実現に向けた今後の取り組み</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・森林の里親企業と協働し、森林整備を進める。</li> <li>・森林整備に絡めて観光誘客などを行い、小諸市の魅力を伝える。</li> </ul>						

政策 4 地域の宝、地域の資源を有効活用し、活気ある豊かなまち  
 施策 4-1 農家の担い手を育て儲かる農業をめざします

事務事業名		新規・継続		施策内順位		
森林整備促進事業		継続		7		
会計・款・項・目		所管課		市長公約事項		
一般会計・6農林水産業費・2林業費・1林業振興費		農林課		1:無		
事業概要	森林の多面的な機能を発揮させ持続可能な社会を実現するため、森林を取り巻く環境整備(間伐・除伐・下刈り等)を促進させるとともに、森林環境譲与税を活用した事業を推進することで、森林の循環サイクルを推進していく。					
投入指標	年度別事業費		平成29年度	平成30年度	令和元年度	
	国・県支出金		814 千円	4,607 千円	5,153 千円	
	特定財源	国・県支出金	0 千円	0 千円	0 千円	
		地方債	0 千円	0 千円	0 千円	
		その他	0 千円	0 千円	0 千円	
一般財源		814 千円	4,607 千円	5,153 千円		
活動指標	指標名		単位	平成29年度	平成30年度	令和元年度
	森林環境譲与税を活用した森林整備面積	ha	計画	2	2	3
			実績	3	3	5
			計画			
			実績			
令和元年度 実績		評価	拡充	特記事項		
<ul style="list-style-type: none"> <li>・新たな森林管理システムの推進に向けて、関係団体と協議を実施。今後の予定について意識統一を図った。</li> <li>・森林環境譲与税を活用し、間伐や除伐、地拵えなどの森林施業に対して補助金の交付を行なった。</li> </ul>						
<p align="center">目標の実現に向けた今後の取り組み</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・業務委託により意向調査システムを構築し、市内民有林対象森林の抽出を行う。</li> <li>・林業関係者及び県と協議して、効率的な森林整備が出来る施業地の抽出を行う。</li> <li>・意向調査対象地域の順位付けを行い、意向調査の準備を行う。</li> </ul>						

政策 4 地域の宝、地域の資源を有効活用し、活気ある豊かなまち  
 施策 4-1 農家の担い手を育て儲かる農業をめざします

事務事業名		新規・継続		施策内順位			
平成28年発生御影用水災害復旧事業		継続		11			
会計・款・項・目		所管課		市長公約事項			
一般会計・11災害復旧費・1農林水産施設災害復旧費・1農地農業用施設		農林課		1:無			
事業概要	平成28年11月9日発生、御影用水の越流に起因した土砂災害の復旧(法面復旧工事 L=30m)						
投入指標	年度別事業費		平成29年度	平成30年度	令和元年度		
	年度別事業費		8,500 千円	160,248 千円	71,053 千円		
	特定財源	国・県支出金	0 千円	0 千円	0 千円		
		地方債	0 千円	0 千円	0 千円		
		その他	0 千円	0 千円	0 千円		
一般財源		8,500 千円	160,248 千円	71,053 千円			
活動指標	指標名		単位	平成29年度	平成30年度	令和元年度	
	工事の復旧率		%	計画	0	50	90
				実績	0	51	90
				計画			
				実績			
令和元年度 実績		評価	縮小	特記事項			
測量設計業務委託 1件 崩落法面復旧工事 7件							
目標の実現に向けた今後の取り組み							
関係者との適切な協議等により早期復旧を図る。							

政策 4 地域の宝、地域の資源を有効活用し、活気ある豊かなまち  
 施策 4-1 農家の担い手を育て儲かる農業をめざします

事務事業名		新規・継続		施策内順位			
施設運営事業		継続		2			
会計・款・項・目		所管課		市長公約事項			
小諸市野生鳥獣商品化施設運営事業特別会計・1施設費・1施設費・1施設		農林課		1:無			
事業概要	駆除したシカを有効活用しオリジナルの製品化を行う。 ・シカ肉を用いたペットフードとして、精肉及び加工商品の販売。 ・シカ皮及び角等を用いた商品開発。 ・施設の安定的な経営のため、商品等の原料となるニホンジカの安定供給の仕組みを確立する。						
投入指標	年度別事業費		平成29年度	平成30年度	令和元年度		
	年度別事業費		12,193 千円	17,041 千円	24,980 千円		
	特定財源	国・県支出金	2,000 千円	1,147 千円	388 千円		
		地方債	0 千円	0 千円	0 千円		
		その他	7,832 千円	15,034 千円	23,731 千円		
一般財源		2,361 千円	860 千円	861 千円			
活動指標	指標名		単位	平成29年度	平成30年度	令和元年度	
	ニホンジカの加工個体数		頭	計画	450	600	625
				実績	598	902	1,519
				計画			
				実績			
令和元年度 実績		評価	維持	特記事項			
シカ1,519頭を解体し、解体肉29,525kgを加工及び販売した。(H30は902頭解体、解体肉19,298kg、H29は598頭解体、解体肉11,936kg) ・近隣自治体(軽井沢町・佐久市・上田市)からシカの受け入れを実施。 ・Komoro Premium製品を、ふるさと納税返礼品として151件を販売。(H30は284件、H29は71件)							
目標の実現に向けた今後の取り組み							
・近隣自治体からの原料となるシカの安定確保と、安定した販路の確保により、施設運営を安定させる。 ・経常経費の節減を図る。 ・効率的にKomoro Premium商品を製造できるよう施設整備を行う。							



政策 4 地域の宝、地域の資源を有効活用し、活気ある豊かなまち  
 施策 4-1 農家の担い手を育て儲かる農業をめざします

事務事業名		新規・継続		施策内順位		
高峰財産区事業		継続		-		
会計・款・項・目		所管課		市長公約事項		
高峰財産区特会		農林課		1:無		
事業概要	高峰財産区管理会による財産区の財産の管理と運用					
投入指標		平成29年度	平成30年度	令和元年度		
	年度別事業費	128 千円	128 千円	128 千円		
	特定財源 国・県支出金	0 千円	0 千円	0 千円		
	地方債	0 千円	0 千円	0 千円		
	その他	128 千円	128 千円	128 千円		
一般財源	0 千円	0 千円	0 千円			
活動指標	指標名	単位		平成29年度	平成30年度	令和元年度
	財産区の財産(山林)の維持管理回数	回	計画	2	2	2
			実績	2	2	2
			計画			
			実績			
令和元年度 実績	評価	維持	特記事項			
管理会を開催し、適切に維持管理を行った。						
目標の実現に向けた今後の取り組み						
・定期的に管理会を開催し、区有林の整備等を行い、財産区の財産を適正に維持・管理を行う。						

政策 4 地域の宝、地域の資源を有効活用し、活気ある豊かなまち  
 施策 4-1 農家の担い手を育て儲かる農業をめざします

事務事業名		新規・継続		施策内順位		
御牧ヶ原財産区事業		継続		-		
会計・款・項・目		所管課		市長公約事項		
御牧ヶ原財産区特会		農林課		1:無		
事業概要	御牧ヶ原財産区管理会による財産区財産の管理と運用					
投入指標		平成29年度	平成30年度	令和元年度		
	年度別事業費	1,914 千円	545 千円	1,642 千円		
	特定財源 国・県支出金	0 千円	0 千円	0 千円		
	地方債	0 千円	0 千円	0 千円		
	その他	1,914 千円	545 千円	1,642 千円		
一般財源	0 千円	0 千円	0 千円			
活動指標	指標名	単位		平成29年度	平成30年度	令和元年度
	財産区の財産(山林)の維持管理回数	回	計画	2	2	3
			実績	5	5	4
			計画			
			実績			
令和元年度 実績	評価	維持	特記事項			
管理会を開催し、適切に維持管理を行った。						
目標の実現に向けた今後の取り組み						
・定期的に管理会を開催し、区有林の整備等を行い、財産区の財産を適正に維持・管理を行う。						

政策 4 地域の宝、地域の資源を有効活用し、活気ある豊かなまち  
 施策 4-1 農家の担い手を育て儲かる農業をめざします

事務事業名		新規・継続		施策内順位	
古牧財産区事業		継続		-	
会計・款・項・目		所管課		市長公約事項	
古牧財産区特会		農林課		1:無	
事業概要	古牧財産区管理会による財産区財産の管理と運用				
投入指標	年度別事業費		平成29年度	平成30年度	令和元年度
	特定財源	国・県支出金	260 千円	268 千円	264 千円
		地方債	0 千円	0 千円	0 千円
		その他	0 千円	0 千円	0 千円
		一般財源	260 千円	268 千円	264 千円
指標名		単位	平成29年度	平成30年度	令和元年度
活動指標	財産区の財産(山林)の維持管理回数	回	計画	2	2
			実績	3	3
			計画		
			実績		
令和元年度 実績		評価	維持	特記事項	
管理会を開催し、適切に維持管理を行った。					
目標の実現に向けた今後の取り組み					
・定期的に管理会を開催し、区有林の整備等を行い、財産区の財産を適正に維持・管理を行う。					

政策 4 地域の宝、地域の資源を有効活用し、活気ある豊かなまち  
 施策 4-1 農家の担い手を育て儲かる農業をめざします

事務事業名		新規・継続		施策内順位	
滋野財産区事業		継続		-	
会計・款・項・目		所管課		市長公約事項	
滋野財産区特会		農林課		1:無	
事業概要	滋野財産区管理会による財産区財産の管理と運用				
投入指標	年度別事業費		平成29年度	平成30年度	令和元年度
	特定財源	国・県支出金	41 千円	40 千円	41 千円
		地方債	0 千円	0 千円	0 千円
		その他	0 千円	0 千円	0 千円
		一般財源	41 千円	40 千円	41 千円
指標名		単位	平成29年度	平成30年度	令和元年度
活動指標	財産区の財産(山林)の維持管理回数	回	計画	2	2
			実績	2	2
			計画		
			実績		
令和元年度 実績		評価	維持	特記事項	
管理会を開催し、適切に維持管理を行った。					
目標の実現に向けた今後の取り組み					
・定期的に管理会を開催し、区有林の整備等を行い、財産区の財産を適正に維持・管理を行う。					

政策 4 地域の宝、地域の資源を有効活用し、活気ある豊かなまち  
 施策 4-1 農家の担い手を育て儲かる農業をめざします

事務事業名		新規・継続		施策内順位		
乗瀬地区市有地管理事業		継続		-		
会計・款・項・目		所管課		市長公約事項		
乗瀬地区市有地管理特会		農林課		1:無		
事業概要	乗瀬区市有地管理委員会による所管財産の管理と運用					
投入指標	年度別事業費		平成29年度	平成30年度	令和元年度	
	特定財源	国・県支出金	26 千円	26 千円	23 千円	
		地方債	0 千円	0 千円	0 千円	
		その他	0 千円	0 千円	0 千円	
		一般財源	26 千円	26 千円	23 千円	
指標名		単位	平成29年度	平成30年度	令和元年度	
活動指標	管理委員会の所管財産(山林)の維持管理回数		回	計画 2	計画 2	計画 2
				実績 2	実績 2	実績 2
				計画		
				実績		
令和元年度 実績			評価	縮小	特記事項	
管理会を開催し、適切に維持管理を行った。						
目標の実現に向けた今後の取り組み						
・定期的に管理会を開催し、山林の整備等を行い、管理会の財産を適正に維持・管理を行う。						

政策 4 地域の宝、地域の資源を有効活用し、活気ある豊かなまち  
 施策 4-1 農家の担い手を育て儲かる農業をめざします

事務事業名		新規・継続		施策内順位			
農業用施設単独災害復旧事業		継続		-			
会計・款・項・目		所管課		市長公約事項			
一般会計・11災害復旧費・1農林水産施設災害復旧費・1農地農業用施設災害復旧費		農林課		1:無			
事業概要	現に災害を受けた農地等を速やかに原形に復旧する。又は、原形に復旧することが著しく困難若しくは不適当な場合にこれに代わるべき必要な施設を造る。						
投入指標	年度別事業費		平成29年度	平成30年度	令和元年度		
	特定財源	国・県支出金	0 千円	1,307 千円	41,083 千円		
		地方債	0 千円	0 千円	0 千円		
		その他	0 千円	0 千円	0 千円		
		一般財源	0 千円	1,307 千円	41,083 千円		
活動指標	指標名		単位	平成29年度	平成30年度	令和元年度	
	災害復旧率		%	計画	100	100	100
				実績	-	100	30
				計画			
			実績				
令和元年度 実績			評価	拡充	特記事項		
令和元年度発生 of 農地災害復旧工事 測量設計委託 1件 復旧工事 農地29件 施設48件				平成30年度 予算科目整理			
目標の実現に向けた今後の取り組み							
早期復旧に向け事業の進捗を図る。							

政策 4 地域の宝、地域の資源を有効活用し、活気ある豊かなまち  
 施策 4-1 農家の担い手を育て儲かる農業をめざします

事務事業名				新規・継続	
農業総務費運営費				継続	
会計・款・項・目				所管課	
一般会計・6農林水産業費・1農業費・2農業総務費				農林課	
投入 指標	特定 財源	平成29年度		令和元年度	
		年度別事業費		2,343 千円	
		国・県支出金	2,649 千円	2,768 千円	2,343 千円
		地方債	0 千円	0 千円	0 千円
		その他	0 千円	0 千円	0 千円
一般財源		2,649 千円	2,768 千円	2,343 千円	
事務事業名				新規・継続	
農業総務費給与費				継続	
会計・款・項・目				所管課	
一般会計・6農林水産業費・1農業費・2農業総務費				農林課	
投入 指標	特定 財源	平成29年度		令和元年度	
		年度別事業費		136,938 千円	
		国・県支出金	121,451 千円	130,605 千円	136,938 千円
		地方債	0 千円	0 千円	0 千円
		その他	0 千円	0 千円	0 千円
一般財源		121,451 千円	130,605 千円	136,938 千円	
事務事業名				新規・継続	
農地費運営費				継続	
会計・款・項・目				所管課	
一般会計・6農林水産業費・1農業費・4農地費				農林課	
投入 指標	特定 財源	平成29年度		令和元年度	
		年度別事業費		1,041 千円	
		国・県支出金	907 千円	766 千円	1,041 千円
		地方債	0 千円	0 千円	0 千円
		その他	0 千円	0 千円	0 千円
一般財源		907 千円	766 千円	1,041 千円	
事務事業名				新規・継続	
県営農業農村整備事業負担金				継続	
会計・款・項・目				所管課	
一般会計・6農林水産業費・1農業費・4農地費				農林課	
投入 指標	特定 財源	平成29年度		令和元年度	
		年度別事業費		16,009 千円	
		国・県支出金	17,963 千円	4,153 千円	16,009 千円
		地方債	0 千円	0 千円	0 千円
		その他	11,900 千円	0 千円	0 千円
一般財源		6,063 千円	4,153 千円	16,009 千円	
事務事業名				新規・継続	
市単独維持補修事業				継続	
会計・款・項・目				所管課	
一般会計・6農林水産業費・1農業費・4農地費				農林課	
投入 指標	特定 財源	平成29年度		令和元年度	
		年度別事業費		14,465 千円	
		国・県支出金	13,442 千円	16,403 千円	14,465 千円
		地方債	0 千円	0 千円	0 千円
		その他	0 千円	0 千円	0 千円
一般財源		13,442 千円	16,403 千円	14,465 千円	



政策 4	地域の宝、地域の資源を有効活用し、活気ある豊かなまち
施策 4-2	既存企業や新規起業者への支援と、企業誘致を推進し、働く場を創出します

所 管	商工観光課
関 連	—
関 連	—
関 連	—
関 連	—
関 連	—

#### ◆現状と課題

雇用を創出する企業の誘致を図りたいが、市や土地開発公社で提供できる用地がないため積極的な誘致をすることができない状況となっている。また、雇用については佐久地域の求人倍率は1倍を超えているが、企業と求職者とのミスマッチが起き、人材不足が深刻化している現状にある。働く場を確保するためには、企業立地と合わせ市外移転や廃業等による減少を防ぐための既存企業への支援の充実、また起業者となる人材の育成や経営を維持していくための知識を高めていく必要がある。

#### ◆方針

目的
商工会議所など関係機関と連携しながら、既存企業や起業者への、経営や人材育成に対する支援、また企業立地の推進を図り雇用の場を確保するとともに、職業安定協会と連携した就職相談会、企業説明会の開催などにより企業と求職者とのマッチングを図り、人材を確保する。また、産学官や地域との連携により、地域に集積する技術や資源を活用した技術高度化や新たな産業の創出を支援することで、地域産業の活性化を図るとともに、工場等の用地確保に向けた企業立地計画を策定し、企業立地の推進を図る。

#### ◆令和元年度重点方針と目標

- ・企業ニーズに合わせた現実的で効率的な産業団地の確保と企業誘致に努める。
- ・経済産業省及びJETRO(日本貿易推進機構)の支援を受け外国企業の誘致に取り組む。
- ・テレワークの実現に向けた具体的な方法等を検討する。
- ・第2回「夢アワード」の開催など商工会議所と連携して起業に対する支援の取組みを強化する。

#### ◆目標

- ・目標の計画と達成状況

計 画
①働ける職場がある状態。 ②起業する際に必要な支援が受けやすい状態。 ③安定した収入があり、安心して生活ができる状態。
設 定 理 由
①働きたいと思った時に働ける職場があれば、安心して生活できるから。 ②必要な起業支援が受けられることで起業者が増え、雇用の場につながるから。 ③働く場があれば安定した収入が得られ、安心して生活することができるから。

◆実績

令和元年度実績						評価	拡充
<ul style="list-style-type: none"> <li>・民間用地を活用した企業誘致と既存企業の支援を進め、4件(新設2件、増設2件)の立地を達成した。</li> <li>・商工会議所と連携し「JAPAN CHALLENGER AWARD in小諸」の開催やチャレンジ起業相談室などの支援を通じて、16件の起業につなげた。</li> <li>・移住者を支援し、3件の創(起)業につなげた。</li> </ul>							

◆成果指標(アウトカム)

・目標の計画と達成状況

指標名	企業立地数							
設定理由	企業数が増えることで働く場が確保できるから。							
算式							単位	件
目標値	計画策定時		平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度		
	2	計画	3	3	3	3		
		実績	4	3	4			
指標名	企業立地による雇用者数							
設定理由	雇用が増えることで、就職に結びつき、安定した生活がおくれるから。							
算式							単位	人
目標値	計画策定時		平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度		
	15	計画	16	16	16	16		
		実績	8	135	3			
指標名	市内での起業件数(小諸商工会議所チャレンジ起業相談室を利用した起業件数)							
設定理由	起業が増えれば地域経済の活性化や働く場の創出につながるから。							
算式							単位	件
目標値	計画策定時		平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度		
	20	計画	20	20	20	20		
		実績	13	21	16			

◆目標の実現に向けた今後の取り組み

<ul style="list-style-type: none"> <li>・新型コロナウイルスの影響を受けた事業者への支援、対策を最優先に行い、地域経済の回復、維持を図る。</li> <li>・引き続き積極的な企業誘致や既存企業への支援を進め、雇用の場の確保・拡大を図るとともに、テレワークの定着を踏まえ、サテライトオフィスなど地方の強みを活かした誘致活動を強化する。</li> <li>・商工会議所と連携して新規起業家に対する支援の取組みを進める。</li> <li>・商店街の活性化や空き店舗活用などを地元商店街と協力して進め、有効な支援を行う。</li> </ul>							
--	--	--	--	--	--	--	--

◆個別計画

--

◆特記事項

--

政策 4 地域の宝、地域の資源を有効活用し、活気ある豊かなまち  
 施策 4-2 既存企業や新規起業者への支援と、企業誘致を推進し、働く場を創出します

事務事業名		新規・継続	施策内順位			
労働振興事業		継続	3			
会計・款・項・目		所管課	市長公約事項			
一般会計・5労働費・1労働費・1労働諸費		商工観光課	1:無			
事業概要	<ul style="list-style-type: none"> <li>雇用促進や就労支援のための就職相談会、事業所視察会等の実施</li> <li>勤労者の福利増進のため生活資金融資制度の実施</li> <li>勤労者の福利増進のための事業支援</li> </ul>					
投入指標			平成29年度	平成30年度	令和元年度	
	年度別事業費		82,284 千円	81,879 千円	81,874 千円	
	特定財源	国・県支出金	0 千円	0 千円	0 千円	
		地方債	0 千円	0 千円	0 千円	
		その他	80,000 千円	80,121 千円	80,123 千円	
一般財源		2,284 千円	1,758 千円	1,751 千円		
活動指標	指標名		単位	平成29年度	平成30年度	令和元年度
	労政審議会の開催	回	計画	1	1	1
			実績	1	1	1
	小諸北佐久勤労者互助会へ新規加入した市内事業所数	事業所	計画	3	3	3
			実績	2	1	1
令和元年度 実績		評価	維持	特記事項		
<p>労政審議会を開催し、小諸市の労働施策として子育て期の女性就業相談会や高校生向け事業所説明会の実績及び今後の取り組みについて情報共有ができた。労働者生活資金制度融資は元年度新規融資で21件32,030千円、年度末融資残高は53,022千円となった。小諸北佐久勤労者互助会は新規加入1事業所、新規加入者83人(内小諸73人)であった。子育て期の女性相談件数40件、就労者数5人であった。</p>		<p>・小諸・北佐久勤労者互助会として、立科町、御代田町、軽井沢町の会員数の増加についても、各町の事務局担当課を通じて引き続き働きかけを行っていく。</p>				
<p>目標の実現に向けた今後の取り組み</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>若者の雇用機会確保と就労支援に向け、職業安定協会と連携した就職相談会や事業所視察会等を実施する。</li> <li>女性の雇用、特に子育て期の女性を対象とした研修会や相談会を、佐久地域振興局に配置されている「女性就業相談員」を中心に実施するとともに、子どもセンター、図書館へPRを行う。</li> <li>労働金庫小諸支店と連携し、労働者生活資金融資制度を周知する。</li> </ul>						

政策 4 地域の宝、地域の資源を有効活用し、活気ある豊かなまち  
 施策 4-2 既存企業や新規起業者への支援と、企業誘致を推進し、働く場を創出します

事務事業名		新規・継続	施策内順位			
商工業総合振興事業		継続	2			
会計・款・項・目		所管課	市長公約事項			
一般会計・7商工費・1商工費・2商工振興費		商工観光課	1:無			
事業概要	<ul style="list-style-type: none"> <li>商工会議所が行う事業に対する助成</li> <li>商店会連合会への助成</li> <li>空き店舗の活用促進</li> <li>起業への支援</li> </ul>					
投入指標			平成29年度	平成30年度	令和元年度	
	年度別事業費		26,655 千円	32,284 千円	29,645 千円	
	特定財源	国・県支出金	0 千円	0 千円	0 千円	
		地方債	0 千円	0 千円	0 千円	
		その他	0 千円	0 千円	283 千円	
一般財源		26,655 千円	32,284 千円	29,362 千円		
活動指標	指標名		単位	平成29年度	平成30年度	令和元年度
	中小企業振興審議会の開催	回	計画	2	2	2
			実績	1	1	0
	チャレンジ起業相談室を通じた起業数	件	計画	20	20	20
			実績	13	21	16
令和元年度 実績		評価	維持	特記事項		
<p>商工会議所のチャレンジ起業相談室と連携し、創業塾やジャパンチャレンジャーアワードを開催し16件の起業に結び付いた。既存店舗改修等支援事業補助金については3店舗の改修を支援した。</p>		<p>・チャレンジ起業相談室と定期的に情報交換を行い、創業希望者への支援策について協議していく。</p> <p>・空き店舗情報については、ホームページで公開し、空き店舗を活用したい事業者へ情報提供を行う。</p> <p>・店舗誘致に向け、商店街と協力し空き店舗調査を行う。</p> <p>・外部専門家招へい事業を活用し、相生町商店街振興会との協働により、まちづくり推進のための人材育成と商店街が活性化される取組みを実施する。</p>				
<p>目標の実現に向けた今後の取り組み</p>						



政策 4 地域の宝、地域の資源を有効活用し、活気ある豊かなまち  
 施策 4-2 既存企業や新規起業者への支援と、企業誘致を推進し、働く場を創出します

事務事業名		新規・継続		施策内順位			
制度融資事業		継続		4			
会計・款・項・目		所管課		市長公約事項			
一般会計・7商工費・1商工費・2商工振興費		商工観光課		1:無			
事業概要	・中小企業者に対する制度融資の実施						
投入指標	年度別事業費		平成29年度	平成30年度	令和元年度		
	特定財源	国・県支出金	516,301 千円	521,019 千円	515,274 千円		
		地方債	0 千円	0 千円	0 千円		
		その他	0 千円	0 千円	0 千円		
		一般財源	516,301 千円	503,952 千円	500,571 千円		
			17,067 千円	14,703 千円			
活動指標	指標名		単位	平成29年度	平成30年度	令和元年度	
	融資あっせん委員会の開催		回	計画	1	1	1
				実績	1	1	0
	市制度融資実績		千円	計画	300,000	300,000	300,000
				実績	303,920	464,700	361,030
令和元年度 実績		評価	拡充	特記事項			
<p>市内中小企業が資金調達しやすい制度となるよう、各金融機関から情報収集を実施し、運転資金について貸付期間を5年から7年とした。また、新型コロナウイルスの影響により業況が悪化した中小企業等の支援のため新型コロナウイルス感染症対策資金を設けた。          中小企業制度資金は元年度新規融資で83件361,030千円、年度末融資残高は1,096,606千円となった。</p>							
<p>目標の実現に向けた今後の取り組み</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・融資あっせん委員会を開催し、経済状況等を考慮しながら中小企業者が利用しやすい効果的な融資制度にしていく。</li> <li>・金融懇談会を通じて、各銀行の市制度及び県制度融資の実施状況を把握する。</li> <li>・商工会議所の経営指導員と定期的に意見交換を行う。</li> </ul>							

政策 4 地域の宝、地域の資源を有効活用し、活気ある豊かなまち  
 施策 4-2 既存企業や新規起業者への支援と、企業誘致を推進し、働く場を創出します

事務事業名		新規・継続		施策内順位			
企業立地推進事業		継続		1			
会計・款・項・目		所管課		市長公約事項			
一般会計・7商工費・1商工費・2商工振興費		商工観光課		2:有			
事業概要	<ul style="list-style-type: none"> <li>・新規企業の誘致</li> <li>・既存企業の支援</li> <li>・産業団地に関すること</li> </ul>						
投入指標	年度別事業費		平成29年度	平成30年度	令和元年度		
	特定財源	国・県支出金	123,760 千円	198,570 千円	217,357 千円		
		地方債	0 千円	0 千円	0 千円		
		その他	0 千円	0 千円	0 千円		
		一般財源	65,000 千円	130,000 千円	172,000 千円		
			68,570 千円	45,357 千円			
活動指標	指標名		単位	平成29年度	平成30年度	令和元年度	
	企業支援助成金交付件数		件	計画	50	50	50
				実績	63	53	49
	企業相談訪問件数		件	計画	250	120	120
				実績	456	179	243
令和元年度 実績		評価	拡充	特記事項			
<p>・企業立地実績 新設2件 増設2件</p> <p>令和元年度から活動指標を「企業立地件数」から「企業相談訪問件数」に変更</p>							
<p>目標の実現に向けた今後の取り組み</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・現在交渉中の案件の誘致実現に向け関係機関との調整等を行う。</li> <li>・企業のニーズを把握し、効果的な支援策の検討、実施をする。</li> <li>・企業訪問や関係機関との情報交換等により企業立地の情報収集を行う。</li> <li>・産学官連携事業を活用し市内企業が抱えている問題や課題を解決する取組を行う。</li> </ul>							

政策 4 地域の宝、地域の資源を有効活用し、活気ある豊かなまち  
 施策 4-2 既存企業や新規起業者への支援と、企業誘致を推進し、働く場を創出します

事務事業名		新規・継続		
商工総務費給与費		継続		
会計・款・項・目		所管課		
一般会計・7商工費・1商工費・1商工総務費		商工観光課		
投入指標		平成29年度	平成30年度	令和元年度
	年度別事業費	72,337 千円	82,324 千円	84,679 千円
	特定財源			
	国・県支出金	0 千円	0 千円	0 千円
	地方債	0 千円	0 千円	0 千円
その他	0 千円	0 千円	0 千円	
一般財源	72,337 千円	82,324 千円	84,679 千円	



政策 4	地域の宝、地域の資源を有効活用し、活気ある豊かなまち
施策 4-3	協働して戦略的に小諸の魅力を発信し、交流人口・移住人口の増加を図ります

所 管	商工観光課
関 連	—
関 連	—
関 連	—
関 連	—
関 連	—

#### ◆現状と課題

小諸の持つ観光資源を活用し、また、その魅力を十分に活用することができていないため、観光客数も減少傾向となっているのが現状である。交流人口・移住人口の増加を図るためには、戦略的な情報発信や協働による観光地域づくりを進めるための仕組みづくり、また、その舵取り役となる組織づくり、人材育成が課題となっている。

#### ◆方針

目的
小諸市観光地域づくりビジョンを基本に、こもろ観光局を中心とした協働によるシティプロモーションの推進によって、観光のブランド力と認知度を上げ、地域の活性化と移住・定住・交流人口の増加を図る。また、市内の観光資源をつなぎ、観光客が楽しく回遊できる動線づくりを進めるとともに、既にある資源を有効活用する仕組みを工夫し、魅力ある地域づくりにつなげていく。

#### ◆令和元年度重点方針と目標

<ul style="list-style-type: none"> <li>・こもろ観光局の自立促進を進め、連携して戦略的な観光宣伝・誘客事業を行う。</li> <li>・旧脇本陣での滞在型交流施設開設に伴い、施設の有効活用と指定管理者による円滑な運営に努める。</li> <li>・地方創生推進交付金を活用した懐古園(動物園)再整備の計画を策定し、着実に進める。</li> <li>・移住・定住促進のため、民間による宅地開発が進むよう必要な支援を行う。</li> </ul>
---

#### ◆目標

・目標の計画と達成状況

計 画
①市民自らが小諸市の魅力を再認識し、誇りをもってその価値を発信するとともに、同じ思いをもって魅力ある地域づくりに取り組んでいる状態。 ②移住者・定住者が増え、新築住宅着工数が増えている状態。 ③観光資源を案内する分かりやすい看板や動線が整備されている状態。
設 定 理 由
①広く地域住民が誇りをもって小諸の魅力を伝えることにより、観光客や移住者が増え、また、交流をすることで地域の活力が高まるから。 ②住宅着工数が増えることは、そこで暮らしたくなる魅力があることになるから。 ③案内が充実していることは、地域の魅力をより伝えることができる状態といえるから。

◆実績

令和元年度実績						評価	拡充
<ul style="list-style-type: none"> <li>観光ブランドの確立に向けた情報発信やプロモーションの強化、旅行滞在プログラムの造成などを「こもろ観光局」を中心に進めた。脇本陣「糸屋」を7月にオープンした。</li> <li>動物園の将来構想に基づく「小諸市動物園再整備基本計画」をパブリックコメントや市民懇談会などを経て策定した。</li> <li>「こもろ観光局」の自立促進、財政基盤の強化等に向け、外部専門機関の支援を受け具体的な検討に入った。</li> <li>民間による東南部地区宅地開発を促進する社会資本整備を計画どおり実施した。</li> </ul>							

◆成果指標(アウトカム)

・目標の計画と達成状況

指標名	新築住宅着工数							
設定理由	新築住宅が増えることは、定住人口の増加、もしくは市外への流出を抑えていることになるから。							
算式							単位	件
目標値	計画策定時		平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度		
	130	計画	200	200	200	200		
		実績	129	142	145			
指標名	(仮想)交流人口							
設定理由	交流人口が増えていることは、地域の魅力が高まっていて移住・定住人口の増につながる状態であるから。(小諸市観光地域づくりビジョンめざそう値3)							
算式	小諸駅乗降者数+小諸IC利用台数(1台2人換算)+高速バス市内乗降者数						単位	人
目標値	計画策定時		平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度		
	5,020,000	計画	5,060,000	5,080,000	5,090,000	5,130,000		
		実績	5,284,823	5,295,163	5,212,892			
指標名	地域ブランド調査の魅力度全国順位							
設定理由	客観的に小諸市の魅力度を測ることのできる指標であるから。							
算式	民間調査機関によるインターネット調査で、全国1000市区町村(全792市と東京23区及び抜粋した185町村)中の順位。						単位	位
目標値	計画策定時		平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度		
	201	計画	200以内	200以内	200以内	200以内		
		実績	190	229	185			

◆目標の実現に向けた今後の取り組み

<ul style="list-style-type: none"> <li>こもろ観光局と連携し、新型コロナウイルスの影響が深刻な観光産業の支援として、誘客促進や情報発信などを重点的に行う。</li> <li>こもろ観光局の自立促進を図るため、組織や運営方法の具体的な見直しを検討する。</li> <li>地方創生推進交付金による懐古園(動物園)再整備を着実に進める。</li> <li>アフターコロナを踏まえ移住促進事業を強化し、企業、個人のニーズに応じたオンライン相談会や移住体験ツアー等を通じて誘致を図るとともに、SNSやメディアを活用した戦略的な情報発信を行う。</li> </ul>							
---	--	--	--	--	--	--	--

◆個別計画

観光地域づくりビジョン
-------------

◆特記事項

--

政策 4 地域の宝、地域の資源を有効活用し、活気ある豊かなまち  
 施策 4-3 協働して戦略的に小諸の魅力を発信し、交流人口・移住人口の増加を図ります

事務事業名		新規・継続		施策内順位		
都市農村交流推進事業		継続		6		
会計・款・項・目		所管課		市長公約事項		
一般会計・6農林水産業費・1農業費・3農業振興費		農林課		1:無		
事業概要	中山間地域を中心に、都市住民が訪れて自然環境や農業体験、農村地域の文化に触れながら地域住民との交流を行う都市農村交流事業の推進 ・小諸市観光局と連携した農業体験・農家民拍等の推進 ・西小諸活性化施設「みはらし交流館」を拠点とした農業体験等の推進 ・あぐりの湯並びに周辺施設を活用した体験等の推進					
投入指標	年度別事業費		平成29年度	平成30年度	令和元年度	
	年度別事業費		1,445 千円	1,203 千円	732 千円	
	特定財源	国・県支出金	0 千円	0 千円	0 千円	
		地方債	0 千円	0 千円	0 千円	
		その他	0 千円	0 千円	0 千円	
一般財源		1,445 千円	1,203 千円	732 千円		
活動指標	指標名		単位	平成29年度	平成30年度	令和元年度
	教育旅行による都市農村交流受入団体数	団体	計画	3	3	5
			実績	2	2	2
		団体	計画			
			実績			
令和元年度 実績		評価	縮小	特記事項		
拠点となる「みはらし交流館」の適切な維持管理(指定管理)ができた(交流館の利用者数が増加した) みはらし交流館と菜種振興組合・そば振興組合と連携したイベントとし、魅力の向上を図った。 インバウンド推進のためのSAVOR JAPANの認証を取得した。						
目標の実現に向けた今後の取り組み ・農業体験等交流コンテンツの作成を旅行業者と一緒に推進する。 ・消費者と産地の交流を継続する。						

政策 4 地域の宝、地域の資源を有効活用し、活気ある豊かなまち  
 施策 4-3 協働して戦略的に小諸の魅力を発信し、交流人口・移住人口の増加を図ります

事務事業名		新規・継続		施策内順位		
布引温泉管理事業		継続		8		
会計・款・項・目		所管課		市長公約事項		
一般会計・7商工費・1商工費・2商工振興費		商工観光課		1:無		
事業概要	布引温泉源泉の維持管理					
投入指標	年度別事業費		平成29年度	平成30年度	令和元年度	
	年度別事業費		705 千円	1,030 千円	12,331 千円	
	特定財源	国・県支出金	0 千円	0 千円	0 千円	
		地方債	0 千円	0 千円	0 千円	
		その他	0 千円	0 千円	1,900 千円	
一般財源		705 千円	1,030 千円	10,431 千円		
活動指標	指標名		単位	平成29年度	平成30年度	令和元年度
	源泉の湧出量と温度の確認回数	回	計画	24	24	24
			実績	24	24	24
	源泉の衛生検査の回数	回	計画	1	1	1
			実績	1	1	1
令和元年度 実績		評価	維持	特記事項		
安定した湧出量確保のため、布引2号源泉の湯量回復工事として、スケール除去工事を行った。また、定期的な湧出量の確認や検査、点検に努めた。						
目標の実現に向けた今後の取り組み 定期的に湯量を確認し、状況に応じながら湯量回復工事や施設修繕を行っていく。						

政策 4 地域の宝、地域の資源を有効活用し、活気ある豊かなまち  
 施策 4-3 協働して戦略的に小諸の魅力を発信し、交流人口・移住人口の増加を図ります

事務事業名		新規・継続	施策内順位				
まちなか活性化施設運営事業		継続	5				
会計・款・項・目		所管課	市長公約事項				
一般会計・7商工費・1商工費・2商工振興費		商工観光課	1:無				
事業概要	駅前前の賑わいを創出している「市民ガーデン」と旧北国街道沿いのまちづくりに寄与している「ほんまち町屋館」「与良館」等の交流拠点施設を指定管理方式で管理運営する。						
投入指標	年度別事業費		平成29年度	平成30年度	令和元年度		
	特定財源	国・県支出金	4,779 千円	16,867 千円	14,580 千円		
		地方債	0 千円	0 千円	0 千円		
		その他	0 千円	0 千円	100 千円		
		一般財源	4,779 千円	16,867 千円	14,480 千円		
活動指標	指標名		単位	平成29年度	平成30年度	令和元年度	
	市民ガーデンのレジ利用者の人数		人	計画	20,740	21,050	21,360
				実績	21,479	24,628	25,179
	ほんまち町屋館のイベント・地域交流日数		日	計画	50	50	50
				実績	43	56	59
令和元年度 実績			評価	維持	特記事項		
<p>・ガーデンは管理レベルを保ち、利用客も増えており、自主事業でも利益を出した。講座を定期的に開催するとともに、イベントも56回開催し、参加者数も14,604人と大勢が参加している。</p> <p>・町屋館、与良館は施設の管理運営について指定管理者と情報交換を定期的に行い、必要な修繕については行った。また、与良館は独自の取り組みを行っている。</p>							
<p>目標の実現に向けた今後の取り組み</p> <p>・市民ガーデン、ほんまち町屋館、与良館の管理運営をする指定管理者と連携を図り、指定管理者が各施設の設置目的に沿った管理と各種講座及びイベント等が開催できるよう支援する。また、定期的な打合せを行い、連絡を取っていく。ほんまち町屋館、与良館については施設の管理運営方法についても検討していく。</p>							

政策 4 地域の宝、地域の資源を有効活用し、活気ある豊かなまち  
 施策 4-3 協働して戦略的に小諸の魅力を発信し、交流人口・移住人口の増加を図ります

事務事業名		新規・継続	施策内順位				
観光振興事業		継続	2				
会計・款・項・目		所管課	市長公約事項				
一般会計・7商工費・1商工費・3観光費		商工観光課	2:有				
事業概要	<p>観光振興・観光宣伝の実施</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>観光誘客や交流推進に係る事業の実施</li> <li>観光事業推進及びイベント開催等への委託料の交付</li> <li>観光事業団体への補助金等の交付</li> <li>観光情報の収集と発信、紙及び電子媒体による広告宣伝</li> <li>観光誘客や交流人口増加に向けたプロモーション</li> </ul>						
投入指標	年度別事業費		平成29年度	平成30年度	令和元年度		
	特定財源	国・県支出金	38,153 千円	52,803 千円	99,104 千円		
		地方債	0 千円	0 千円	43,583 千円		
		その他	0 千円	0 千円	0 千円		
		一般財源	38,153 千円	52,803 千円	55,482 千円		
活動指標	指標名		単位	平成29年度	平成30年度	令和元年度	
	こもろ観光局(日本版DMO)との連携に係る推進会議の開催数		回	計画	12	12	12
				実績	24	16	12
	こもろ観光局と連携した着地型旅行商品の実施		商品	計画	40	50	60
				実績	38	46	56
令和元年度 実績			評価	維持	特記事項		
<p>・こもろ観光局との連携(委託事業含む)により、魅力的な着地型旅行商品の開発や、小諸ブランド確立に向けたマーケティング調査等を実施した。</p> <p>・3市町共同事業として、東信州エンジンジョイ上信越道へのブース出展、上野駅での信州産直市でのパンフレット配布、軽井沢町ウインターフェスティバルへのブース参加等、首都圏からの誘客が見込める場所でのキャンペーン活動を重点に実施した。また、キャンペーン活動時に活用できるよう3市町共同のノベルティーグッズの作製を行った。</p>							
<p>目標の実現に向けた今後の取り組み</p> <p>こもろ観光局(日本版DMO)と連携した観光事業を推進し、ICTの有効活用やアフターコロナ、withコロナを踏まえたインバウンド対応等の新たな事業に取り組むなど戦略的な事業展開を図るとともに、各種イベントや関係団体との広域連携にも力を入れていく。</p>							

政策 4 地域の宝、地域の資源を有効活用し、活気ある豊かなまち  
 施策 4-3 協働して戦略的に小諸の魅力を発信し、交流人口・移住人口の増加を図ります

事務事業名		新規・継続	施策内順位				
観光施設運営事業		継続	7				
会計・款・項・目		所管課	市長公約事項				
一般会計・7商工費・1商工費・3観光費		商工観光課	1:無				
事業概要	観光施設の運営及び維持管理						
投入指標			平成29年度	平成30年度	令和元年度		
	年度別事業費		7,699 千円	26,127 千円	12,923 千円		
	特定財源	国・県支出金	0 千円	0 千円	495 千円		
		地方債	0 千円	0 千円	0 千円		
		その他	252 千円	0 千円	1,525 千円		
一般財源		7,447 千円	26,127 千円	10,903 千円			
活動指標	指標名		単位	平成29年度	平成30年度	令和元年度	
	観光施設(トイレ等)の見回り数		回	計画	4	4	4
				実績	4	4	4
	火山館の訪問数		回	計画	4	4	4
				実績	7	13	10
令和元年度 実績		評価	維持	特記事項			
<ul style="list-style-type: none"> <li>・滞在型交流施設「糸屋」を7月から開設した。</li> <li>・現状を把握して適切な管理運営が出来た。</li> </ul>		H26から事業名を、「火山館管理費」から「観光施設運営事業」へ変更する。					
目標の実現に向けた今後の取り組み							
<ul style="list-style-type: none"> <li>・施設の有効活用を図るため、現状を把握し必要に応じ補修等に取り組む。</li> <li>・案内標識等について現状に適した設置の検討を進める。</li> <li>・糸屋の経営の安定化に向け指定管理者である「こもろ観光局」と定期的な打合せを行う。</li> </ul>							

政策 4 地域の宝、地域の資源を有効活用し、活気ある豊かなまち  
 施策 4-3 協働して戦略的に小諸の魅力を発信し、交流人口・移住人口の増加を図ります

事務事業名		新規・継続	施策内順位				
移住・定住促進事業		継続	4				
会計・款・項・目		所管課	市長公約事項				
一般会計・7商工費・1商工費・3観光費		商工観光課	1:無				
事業概要	移住・定住を促進する事業の推進 ・移住・定住促進に係る支援業務 ・移住定住人口の増加に向けた情報の収集と発信 ・空き家バンクの運営						
投入指標			平成29年度	平成30年度	令和元年度		
	年度別事業費		33,674 千円	36,167 千円	47,760 千円		
	特定財源	国・県支出金	0 千円	0 千円	0 千円		
		地方債	0 千円	0 千円	0 千円		
		その他	3,651 千円	23,949 千円	3,059 千円		
一般財源		30,023 千円	12,218 千円	44,701 千円			
活動指標	指標名		単位	平成29年度	平成30年度	令和元年度	
	移住につながる催しへの参加やイベントの開催件数		回	計画	-	-	10
				実績	9	6	7
	空き家バンクへの登録件数		件	計画	-	-	50
				実績	67	70	52
令和元年度 実績		評価	拡充	特記事項			
<ul style="list-style-type: none"> <li>・新築住宅着工件数 145件</li> <li>・相談窓口等を通じた移住者数 21組 54人</li> <li>・空き家バンク 登録件数 52件 契約件数 26件</li> <li>・移住体験ツアー開催数 2回、移住セミナー等 5回 (台風、新型コロナウイルス対策のため中止3回)</li> <li>・移住体験施設利用者数 9組19人</li> </ul>		活動指標を令和元年度から下記へ変更 1 移住につながる催しへの参加やイベントの開催件数 目標値 10回 2 空き家バンクへの登録件数 50件					
目標の実現に向けた今後の取り組み							
<ul style="list-style-type: none"> <li>・ターゲットを絞った移住推進の取組を行う。アフターコロナにおいては、特にリモートワーク導入企業、社員のニーズを把握し、PRを積極的に行う。</li> <li>・空き店舗活用、創業希望者をターゲットとした移住推進の取り組みを行う。</li> <li>・SNSやメディアを活用し移住が推進するような情報発信を行う。</li> <li>・不動産協会との情報交換等により、今後の宅地開発支援の可能性を研究する。</li> <li>・積極的な情報発信、説明会の実施等により、空き家バンクの登録物件を増やす。</li> </ul>							



政策 4 地域の宝、地域の資源を有効活用し、活気ある豊かなまち  
 施策 4-3 協働して戦略的に小諸の魅力を発信し、交流人口・移住人口の増加を図ります

事務事業名		新規・継続		施策内順位		
観光地域づくり事業		継続		1		
会計・款・項・目		所管課		市長公約事項		
一般会計・7商工費・1商工費・3観光費		商工観光課		1:無		
事業概要	日本版DMO「こもろ観光局」を核として「オール小諸」で地域づくりに取り組むことを目的として、「推進体制の構築」「地域資源を磨き、観光交流に活かすストーリー作りと旅行滞在プログラムの造成」「ブランド発信、プロモーションの充実、強化」といった事業を実施する					
投入指標	年度別事業費		平成29年度	平成30年度	令和元年度	
	特定財源	国・県支出金	50,080 千円	111,580 千円	87,166 千円	
		地方債	25,000 千円	55,790 千円	43,583 千円	
		その他	2,200 千円	20,300 千円	0 千円	
		一般財源	0 千円	0 千円	0 千円	
一般財源		22,880 千円	35,490 千円	43,583 千円		
活動指標	指標名		単位	平成29年度	平成30年度	令和元年度
	観光地入込数	万人	計画	186	187	188
			実績	171	161	144
	市内宿泊者数	人	計画	-	65,000	65,500
			実績	68,400	67,600	60,300
令和元年度 実績			評価	維持	特記事項	
地方創生推進交付金を活用し、同局の自立促進に向けた取り組みを進めるとともに、観光地域づくり推進のため、連携して地域資源を活かした旅行滞在プログラム造成を行ったほか、動物園再整備基本計画を策定した。						
目標の実現に向けた今後の取り組み						
<ul style="list-style-type: none"> <li>・地方推進交付金事業の適正な執行を行う。</li> <li>・こもろ観光局の自立に向けた取り組みを行う。</li> <li>・懐古園事務所と連携し小諸市動物園の再整備を行う。</li> </ul>						

政策 4 地域の宝、地域の資源を有効活用し、活気ある豊かなまち  
 施策 4-3 協働して戦略的に小諸の魅力を発信し、交流人口・移住人口の増加を図ります

事務事業名		新規・継続		施策内順位		
懐古園運営事業		継続		3		
会計・款・項・目		所管課		市長公約事項		
公園特会		商工観光課		1:無		
事業概要	懐古園の維持管理及び運営を行う。(動物園、遊園地、駐車場を含む)					
投入指標	年度別事業費		平成29年度	平成30年度	令和元年度	
	特定財源	国・県支出金	118,134 千円	116,349 千円	119,232 千円	
		地方債	149 千円	169 千円	137 千円	
		その他	0 千円	0 千円	0 千円	
		一般財源	117,985 千円	116,180 千円	119,095 千円	
一般財源		0 千円	0 千円	0 千円		
活動指標	指標名		単位	平成29年度	平成30年度	令和元年度
	懐古園への来園者数	人	計画	225,000	220,000	220,000
			実績	220,622	203,601	200,193
	動物園のツイッターのフォロワー数	人	計画	24,000	30,000	33,000
			実績	26,500	30,110	34,169
令和元年度 実績			評価	維持	特記事項	
<ul style="list-style-type: none"> <li>・ツイッターで動物園の様子を積極的に発信をしたことで、フォロワー数が順調に伸びている。</li> <li>・動物園再整備のため将来構想をもとに基本計画と基本設計を策定した。</li> <li>・入園者数が計画人数を下回ってしまった。</li> </ul>						
目標の実現に向けた今後の取り組み						
<ul style="list-style-type: none"> <li>・園内の桜の樹勢回復を続けながら、今後に向けた園内の桜の植栽計画を進めていく。</li> <li>・園内の石畳通路の老朽化が進んでいるので、対応策を検討する。</li> <li>・県内外の幼稚園、保育園等へ訪問営業を行い、親子遠足などによる来園者増を目指す。</li> <li>・こもろ観光局や観光交流係と連携して誘客や宣伝を行い、交流人口の増加を図る。</li> <li>・馬場の石垣の保全や安全対策について、関係者と協議を行う。</li> <li>・動物園再整備計画を着実に進める。</li> </ul>						

政策 4 地域の宝、地域の資源を有効活用し、活気ある豊かなまち  
 施策 4-3 協働して戦略的に小諸の魅力を発信し、交流人口・移住人口の増加を図ります

		事務事業名		新規・継続
小諸公園事業特別会計繰出金				継続
		会計・款・項・目		所管課
一般会計・7商工費・1商工費・3観光費				商工観光課
		平成29年度	平成30年度	令和元年度
投入 指標	年度別事業費	0 千円	0 千円	0 千円
	特定財源			
	国・県支出金	0 千円	0 千円	0 千円
	地方債	0 千円	0 千円	0 千円
	その他	0 千円	0 千円	0 千円
	一般財源	0 千円	0 千円	0 千円